

## 電気通信大学 平成19年度シラバス

授業科目名	マルチメディアコンピューティング特論		
英文授業科目名	Advanced Multimedia Computing		
開講年度	2007年度	開講年次	
開講学期	前学期	開講コース・課程	博士前期・後期課程
授業の方法		単位数	2
科目区分	電気通信学研究科-情報工学専攻-専門科目		
開講学科・専攻	情報工学専攻		
担当教官名	尾内 理紀夫		
居室	西9-737		

公開E-Mail	授業関連Webページ
onai@cs.uec.ac.jp	

<p><b>【主題および達成目標】</b></p> <p>巷にマルチメディアという言葉を見かけるようになって久しい。かつ、参考書に示したように、岩波書店からマルチメディア情報学シリーズ(全13巻)なるものも発刊された。</p> <p>そのような状況を背景に、本講義においては、まず、「マルチメディアとは一体何なのか?」というマルチメディアの定義を試みる。そして、それをベースに複数のメディア認識技法、デジタル化技法について学習する。さらに、マルチメディア表現法、マルチメディア認識技術、マルチメディア情報検索・要約技術を習得する。最後に、最新のマルチメディア研究開発状況に関してマルチメディア応用システムを軸に紹介する。このように、本講義ではマルチメディアについて工学的視点から考察する。よって、マルチメディア作品を作成するための実用的知識とか、すぐに役に立つテクニックといったものの習得は目標にしない。</p> <p>専門的なことになるが、感性工学、認知科学に関連する技術には踏み込まない予定。</p>
--

<p><b>【前もって履修しておくべき科目】</b></p> <p>特になし。</p>
---

<p><b>【前もって履修しておくことが望ましい科目】</b></p> <p>ヒューマンインタフェース、コンピュータグラフィックス、データベース、人工知能に関する講義を履修してあることが望ましい。</p>
--

【教科書等】

教科書：特になし

参考書：岩波講座 マルチメディア情報学シリーズ（岩波書店）

【授業内容とその進め方】

- 1.マルチメディアとは一体何なのか？
- 2.メディア認識技法、デジタル化技法、
- 3.マルチメディア情報検索・要約技術、マルチメディア表現法、マルチメディア認識技術
- 4.最新のマルチメディア研究開発状況、マルチメディア応用システム

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

成績評価方法は、レポート、及び、出席回数。

評価基準は、マルチメディアの定義、メディア認識技法、デジタル化技法、マルチメディア情報検索・要約技術、マルチメディア表現法、マルチメディア認識技術、最新のマルチメディア研究開発状況とマルチメディア応用システムに関する理解度。

【オフィスアワー：授業相談】

特に設けない。授業に関する質疑応答は受講学生全員にとって有益だと考えるので、授業時間内あるいは授業時間の最後に設ける質疑応答時間に質問すること。全ての講義終了後は、個別の授業相談に応じる。ただし、電子メールでアポをとること。

【学生へのメッセージ】

電気通信大学 平成19年度シラバス

【その他】